

天草市 本渡北地区振興計画

【地区の特徴】		
地域資源(H21)		
面積		7.88km ²
人口		10,440
就業人口 (H17)	第1次産業	114
	第2次産業	724
	第3次産業	3,977
区数		15
学校		市立本渡北小学校、県立芥明高校、 天草准看護高等専修学校
文化財		延慶寺の兜梅、大矢遺跡出土品（以上、県指定重要文化財）。明徳寺山門、延慶寺の高礼、木山家古文書、市ノ瀬橋と石碑（以上、市指定文化財）
史跡		大矢遺跡（県指定重要文化財）。茂木根の横穴古墳、木山弾正の墓、三宅藤兵衛の墓（以上、市指定文化財）、部将の墓、丸尾が丘
その他地域資源		水の平焼、丸尾焼、すけ工房、野の花工房、明徳寺、延慶寺、西の久保公園、広瀬公園（長島茂雄球場）、広瀬川、本渡海水浴場、本渡歴史民俗資料館、本戸馬場八幡宮、天然温泉ペルラの湯舟、天草いるかワールド、ギャラリーつる田
地域伝統芸能		八幡神楽舞い
地域づくり団体		NPO法人AFURE
地区のいいところ・自慢できるところ		
・土地区画整理事業が行われたことなどにより、街並みがきれい。また、車などの通行がしやすい。 ・行政機関や商業施設、医療機関、文化施設などが身近にあり、利便性が高い。 ・西の久保公園や本戸公園、広瀬公園など、地域住民の憩いの場となる公園が多い。また、西の久保公園には花菖蒲園や自然生態園などがあり、広瀬公園には野球場やテニスコートなどがあって、多くの人たちに利用されている。 ・広瀬川や小松原川をはじめ、市街地周辺が緑に囲まれているなど、豊かな自然に恵まれている。 ・2月に見ごろを迎える延慶寺の兜梅や、4月に広瀬公園・城山公園に咲き誇るサクラ、5月に花開く広瀬川沿いのツツジ、6月に西の久保公園に咲くハナショウブは、多くの人たちの目を楽しませ、心を和ませてくれる。 ・各区に地域行事が残っており、子どもたちに継承されている。 ・北地区大運動会などを行っており、世代間・地域間の交流が図られている。 ・平成22年4月に、県内でも大規模な新しい「本渡中学校」が開校する。		

【地区の現状・課題】				
地区の現状				
項目	H17	H21	H24	H21/H17
15歳未満人口	1,907	1,876	1,666	98%
15～64歳人口	6,299	6,434	5,784	102%
65歳以上人口	1,861	2,130	1,915	114%
75歳以上人口	925	1,119	1,006	121%
人口総計	10,067	11,559	9,365	115%
高齢化率（65歳以上）	18%	18%	20%	100%
15歳未満率	19%	16%	18%	86%
世帯数	3,882	4,312		111%
地区が抱える課題・困っていること				
・住宅やアパート、マンションなどが増加し、「隣に誰が住んでいるか知らない」といった話が聞かれるようになっている。地区内に以前から住んでいる人と、新たに住み始めた人とのコミュニケーションをどのようにして図っていくかが課題となっている。 ・近年、区に加入しない人や地域行事に参加しない人が多く増えており、地域の人と人とのつながりが希薄になりつつある。 ・地区の高齢化率は全国平均を下回っているものの、2,000人以上の高齢者が住んでおり、一人暮らしの高齢者などの数は年々増加している。この				

※文化財や史跡、その他地域資源に関する資料があれば、合わせて添付願います。

【市環境】	
第1次天草市総合計画	
まちづくりの理念	日本の宝島“天草”の創造 天草には素晴らしい宝である地域資源をもちながら、その素材を十分生かしていませんが、「島」という特性を生かし、市民が力を合わせて、地域資源や英知を活用することで、産業の創出、天草ブランドの確立等を図ることができます。市民と行政が一体となり、「誰もが誇りに思い、安心して心豊かに暮らせる宝の島」を作っていきます。
	6つの方針 「豊かな産業づくり」「魅力ある観光地づくり」「快適な生活環境づくり」「地域を担う人づくり」「機能的な社会基盤づくり」「環境と共生のまちづくり」
	魅力ある観光地づくり 活力ある天草を創るためには産業を興すことが重要です。「天草」という全国的に知られている名称を生かしたブランドづくりに取り組み、広く県内外にPRするとともに、各地域の特性を生かしてその連携を強化することで、様々な産業の振興を図っていきます。 ●観光拠点の整備：地域づくりと観光PRの融合 ●天草の魅力再発見：観光ボランティアガイドの育成 ●天草型ツーリズムの実践：第1次産業やツーリズム団体との融合
	快適な生活環境づくり 全ての市民が安心して生活できる環境は、私たちが心豊かな生活を送る上での基本です。子供からお年寄りまで、「暮らしやすさ」を実感できるような、みんなで支えあう社会環境づくりを進めるとともに、文化の薫りが漂い、潤いのある生活空間づくりに取り組んでいきます。 ●人にやさしいまちづくり：防犯・交通安全対策の推進、定住人口の増加促進 ●人と人との支え合うまちづくり：青少年の健全育成・非営利活動の支援 ●保健・医療・福祉サービスの充実：健康づくりの推進・高齢者福祉の充実 ●災害等に強いまちづくり：防災体制等の整備・自主防災組織の支援
まちづくりの基本方針	地域を担う人づくり 地域づくりの基本は「人づくり」です。本市の振興、発展を支え、一人ひとりが輝き活動できる人づくりに取り組みます。また、教育環境の整備に努め、明日を担う子供たちの健全育成を図っていきます。 ●コミュニティ活動の推進：コミュニティ活動の支援強化・地域間交流の推進・コミュニティリーダーの育成・コミュニティ施設の整備 ●生涯学習・スポーツの推進：生涯学習の推進・スポーツの振興 ●国際交流の推進：国際交流や多文化共生の地域社会づくりを担う推進体制の整備・多様な国際交流の推進
	環境と共生のまちづくり 天草には、藍く美しい海と緑深い山々があり、自然に恵まれた地域です。この美しい貴重な自然を守り、後世に引き継いでいくことは私たちの使命といえます。まちづくりにあたっては、「環境との共生」を基本として取り組み、魅力的な地域を創造していきます。 ●自然にやさしい環境づくり：環境保全活動への支援 ●景観形成の推進：自然景観の保全・地域景観の形成
	地区振興の方向性
	地域活力の向上 ◆他地域より進む人口減を食い止める ○地域活力を生む「コミュニティビジネス」の創設 ○平成26年を見据えた「若年者層定住策」の実施 等 ◆少子高齢化に対応する ○生活環境を向上させる事業の実施 ○生涯学習・スポーツの振興 等
地域の自立（自律）	◆地域のことは地域で決める力 ○自立（自律）体制の整備 ○自主財源の確保 ◆地域の課題を解決する力 ○行政組織等との連携

【市外環境（政府発表 H20.12.19）】	
◆平成20年度の経済情勢 平成20年度の日本経済は、世界の金融資本市場の危機を契機に世界的な景気後退が見られる中で、外需面に加え国内需要も停滞し、景気の下降局面にある。雇用情勢が急速に悪化しつつあるとともに、企業の資金繰りも厳しい状況となっている。物価の動向をみると、原油価格の急速な下落から、消費者物価は今後落ち着いていくと見込まれる。こうした結果、平成20年度の国内総生産の実質成長率は、マイナス0.8%程度（名目成長率はマイナス1.3%程度）になると見込まれる。 ◆平成21年度の経済見通し 平成21年度においては、世界的な景気後退が続く中で、内需、外需ともに厳しい状況が続くが、年度後半には民間需要の持ち直しなどから低迷を脱していくことが期待される。物価は、原油・原材料価格の弱い動きを反映し、前年比で下落する。こうした結果、平成21年度の国内総生産の実質成長率は、0.0%程度（名目成長率は0.1%程度）になると見込まれる。なお、世界の経済金融情勢の悪化によっては、景気の下降局面がさらに厳しく、また長くなるリスクが存在することに留意する必要がある。 ①実質国内総生産 （i）民間最終消費支出 雇用・所得環境の厳しさが続くものの、対策の効果に下支えされ緩やかに持ち直す（対前年度比0.4%程度増）。 （ii）民間住宅投資 税制改正やその他の対策等の効果により増加に転じる（対前年度比4.7%程度の増）。 ②労働・雇用 雇用調整圧力は対策の実施によって抑制されるが、完全失業率は前年度に比べ上昇する（4.7%程度）。 ③鉱工業生産 内需、外需の低迷を受けて、引き続き減少する（対前年度比4.8%程度の減）。 ④物価 原油・原材料価格の弱い動きを反映し、国内企業物価、消費者物価は下落に転じる（企業物価：対前年度比2.1%の下落、消費者物価：対前年度比0.4%の下落）。	

まちづくり協議会名	本渡まちづくり協議会
-----------	------------

地区振興会名	本渡北地区振興会
--------	----------

まちづくりの目標	テーマ	みんなでつくろう！ 心豊かで活気あふれる“本渡北地区”
	目標の考え方	
	市内最大の人口約1万人が住む本渡北地区は、土地区画整理事業などにより、良好で機能的な都市空間が形成されたほか、豊かな自然にも恵まれているなど、利便性が高く、大変住みよいまちとなっています。しかし近年、区（自治会）に加入しない人や地域行事に参加しない人が多く増えており、地域の人と人とのつながりが希薄になりつつあるなど、多くの課題があります。こうした課題の解決に向け、地区内に以前から住んでいる人と新たに住み始めた人、子どもから高齢者までが一体となって、地域住民の心ふれあう交流や健康・福祉の増進、きれいな街並みや豊かな自然の保全などを図りながら、「活気にあふれ、心豊かに安心して暮らせる“本渡北地区”づくり」を目指していきます。	

基本方針	地域づくり	■心ふれあう地域コミュニティづくり 本渡北地区は近年、住宅やアパートなどが建ち並び、人口が増加傾向にある市内でもまれな地域です。しかし、「隣に誰が住んでいるか知らない」というような話が聞かれるようになってきています。このため、人と人との交流に重点を置いた、心ふれあう地域コミュニティづくりなどを展開します。また、こうした取り組みを積極的に推進するため、地域づくり活動のけん引役となる担い手の発掘・養成などに努めていきます。
	生涯学習	■心豊かで生きがいの持てる生涯学習活動の推進 本渡北公民館は、社会教育事業や自主サークル活動等で年間約3万人が利用するなど、地域の生涯学習活動の拠点となっています。この公民館と連携し、年齢や性別、障がいの有無などにかかわらず、住民のだれもが豊かな心をはぐくみ、人と人とのつながりや生きがいの持てる生涯学習活動を展開します。
	健康福祉	■健康で幸せな生活が送れる地域社会づくり 本渡北地区には、運動会やソフトボール大会、ミニバレー大会など伝統ある体育行事が数多くあります。今後もこれらの取り組みを通じて、住民の交流や健康増進などを図っていきます。また、一人暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯などが増加しているため、地区社会福祉協議会などと連携し、高齢者が安心して充実した生活を送ることができる地域福祉活動を推進します。
	青少年育成	■地域の将来を担う健やかな青少年の育成 地域の将来を担う健やかな青少年の育成を図るため、学校・家庭・地域・各種団体が連携し、子どもたちを地域ではぐくむ活動や、教育・スポーツ活動、教育環境の充実などに取り組んでいきます。また、新・本渡中学校の開校により、児童・生徒の登下校時に通学路での混雑が予想されるため、子どもたちの安全確保に向けた取り組みなどを推進していきます。
	環境整備	■安心・安全で快適な生活環境づくり 本渡北地区は、きれいな街並みや豊かな自然を持つ地域です。こうした街並みや自然を保全するため、環境美化活動などを積極的に展開します。また、犯罪や事故などから子どもや高齢者を守るため、住民相互の見守りや防犯活動などを推進していきます。

本渡北地区振興会 地域行動計画

基本方針	事業名	部会名	具体的事業内容	事業効果	事業種別	スケジュール			事業区分		想定予算額	備考
					ソフト・ハード	H22	H23	H24	新規	継続		
地域づくり分野	● 地区振興会だより発行	事務局	地域行事や各種のお知らせなどを掲載し、毎月1回、区加入世帯などに配付する(約3,700部作成)。	重要なお知らせや、身近な話題などを北地区内の多くの世帯に周知できる。	ソフト	○	→	→		○	40,000	
	● ホームページ管理	事務局	地区振興会だよりの紙面・内容や、行事予定などをホームページに掲載する(月1回程度更新)。	地区振興会だよりで紹介できない北地区の情報や、地区振興会の活動内容などを住民などに広く周知できる。	ソフト	○	→	→		○	5,000	
	● 区長会先進地視察研修	自治会活動	区長・公民館長などを対象に、自治会活動やまちづくり活動などで先進的な取り組みを行っている地域の視察研修を、年1回実施する。	自治会活動などの課題解決策や新たな取り組みを見出す。	ソフト	○	→	→		○	136,500	
	● 区加入促進に関する検討	自治会活動	区未加入者に対する加入促進についての検討を、随時実施する。	より多くの住民が一体となった地域づくり活動を展開するとともに、自治会活動の活性化を図る。	ソフト	○	→	→		○	0	
	● 地区振興会先進地視察研修	地域づくり	地区振興会役員などを対象に、まちづくり活動などで先進的な取り組みを行っている地域の視察研修を、年1回実施する。	地域の課題解決策やまちづくりの新たな方策を見出す。	ソフト	○	→	→		○	60,000	
	● 老人クラブ先進地視察研修	地域づくり	老人クラブ役員などを対象に、老人クラブ活動やまちづくり活動などで先進的な取り組みを行っている地域の視察研修を、年1回実施する。	老人クラブ活動などの課題解決策や新たな取り組みを見出す。	ソフト	○	→	→		○	60,000	
	● 女性部らくらく教室	地域づくり	主に北地区在住の女性を対象に、地域づくりや健康、福祉、環境などをテーマとした講座を、年2回程度実施する。	北地区在住の女性の親睦と融和、地区振興会活動への参画を図る。	ソフト	○	→	→		○	33,000	
	● まちづくり講演会	事務局	北区民を対象に、まちづくりに関する講演会を、年1回実施する。	北区民のまちづくりに対する意識の高揚を図り、今後の活動に生かす。	ソフト	○	→	→		○	35,500	
	● 観光ボランティアガイド養成事業	地域づくり	本渡南地区振興会と合同で、講座や研修などを年5回実施し、地元の観光ボランティアガイドを養成する。	地元住民に郷土に対する誇りや愛着を持ってもらうとともに、観光客の増加などを図る。	ソフト	○				○	0	本渡シティツーリズム事業 実行委員会予算で対応
	● 生ゴミリサイクルによる元気なまちづくり事業	地域づくり	モデル地区を選定し、ダンボールコンポストにより各家庭で生ゴミを堆肥化するとともに、その肥料を持ち寄り、野菜や花づくりを行う。	家庭ゴミ(生ゴミ)の減量を図るとに、地域住民の交流を深める。	ソフト	○	→	→	○		60,000	
	● 地域リーダー養成事業	地域づくり	地域づくりについての各種講座や先進地視察研修などに積極的に参加する。	地域づくりのリーダーを養成することにより、北地区の地域づくり活動をより一層推進し、地域の活性化を図る。	ソフト	○	→	→	○		30,000	
	● クリスマス・イルミネーション事業	地域づくり	12月から翌年1月にかけて、主要施設などにイルミネーションを設置・点灯する。	地区内外の人たちに心の癒しを与えるとともに、地域の活性化を図る。	ソフト	○	→	→	○		250,000	
生涯学習分野	● 小学生料理教室	青少年育成	北小学校の児童(20人程度)を対象として、5月から翌年3月までの毎月第2土曜日に、季節に応じた料理などを作る。	子どもたちが自分で料理を作って、食べることができるようになる。	ソフト	○	→	→		○	130,000	
	● 本渡北老人大学	公民館	5月から翌年2月までの毎月1回、各種の講座などを実施する(学級生約170人)。	高齢者の教養をさらに高めるとともに、健康づくりや仲間づくりを図る。	ソフト	○	→	→		○	0	社会教育課予算で対応
	● 各種サークル活動	公民館	ミニバレーや健康体操、空手など体育系22、囲碁や織物、絵手紙など文化系12の計34サークルの活動を支援する(会員数約530人)。	会員の教養・文化をさらに高めるとともに、健康づくりや仲間づくりを図る。	ソフト	○	→	→		○	0	
健康福祉分野	● 北地区大運動会	健康福祉	子どもからお年寄りまで、だれもが気軽に参加できる各区対抗の運動会を、10月の第2日曜日に実施する(約2,000人参加)。	北区民の健康増進と体位の向上、親睦と融和を図る。	ソフト	○	→	→		○	350,000	
	● 女子ソフトバレーボール大会	健康福祉	北地区の女性チームや公民館サークルチームなどを対象に、4人制による大会を、7月の第1日曜日に実施する(約10チーム・50人程度参加)。	北区民の親睦と融和、体力づくりを図る。	ソフト	○	→	→		○	30,000	
	● 北地区ウォークラリー	健康福祉	北地区在住の小学生以上を対象に、5～8kmのコースを歩きながら、名所・旧跡などをめぐる(11月中旬に実施。約150人参加)。	地域の魅力の再発見につなげるとともに、北区民の親睦と融和、体力づくりを図る。	ソフト	○	→	→		○	210,000	
	● ミニバレーボール大会	健康福祉	11～12月の5日間程度、各区対抗による5人または6人制の大会を実施する(約20チーム・200人程度参加)。	北区民の健康増進と体位の向上、親睦と融和を図る。	ソフト	○	→	→		○	72,000	
	● 青壮年会グラウンドゴルフ大会	健康福祉	青壮年会会員を対象に大会を、2月下旬に実施する(約50人参加)。	青壮年会会員の親睦と融和、体力づくりを図る。	ソフト	○	→	→		○	10,000	
	● 北地区グラウンドゴルフ大会	健康福祉	老人クラブ会員など高齢者を対象に大会を、10月中旬に実施する(約100人参加)。	高齢者相互の親睦と融和、体力づくりを図る。	ソフト	○	→	→		○	40,000	
	● 青壮年会ソフトボール大会	健康福祉	各区・青壮年会対抗の大会を、6月中旬に実施する(約10チーム・170人程度参加)。	青壮年会会員の親睦と融和、体力づくりを図る。	ソフト	○	→	→		○	15,000	
	● 青壮年会スローピッチソフトボール大会	健康福祉	各区・青壮年会対抗の大会を、9月の第1日曜日に実施する(約10チーム・100人程度参加)。	青壮年会会員の親睦と融和、体力づくりを図る。	ソフト	○	→	→		○	15,000	
	● 青壮年会ミニバレーボール大会	健康福祉	各区・青壮年会対抗の大会を、2月中旬に実施する(約10チーム・100人程度参加)。	青壮年会会員の親睦と融和、体力づくりを図る。	ソフト	○	→	→		○	19,000	
	● 各区敬老会	自治会活動	各区単位で敬老会を実施する。	多年にわたり社会に尽くしてこられた高齢者を敬愛し、長寿を祝う。	ソフト	○	→	→		○	675,000	
	● 命のバトン事業	健康福祉	バトン(容器)などを高齢者に配付し、緊急連絡先などを記した用紙を入れて冷蔵庫に保管しておく(バトンは、平成22年6月15日までに約250本配付済み)。	高齢者が病気等により自宅で倒れているときなどに、駆け付けた救急隊員などが用紙に書かれた情報を生かして、迅速な対応を図る。	ソフト	○	→	→	○		0	
青少年育成分野	● 市民・青少年一日一汗運動	自治会活動	6月の第2日曜日に、各区単位で清掃作業などを実施する(約3,500人参加)。	青少年が地域社会の構成員としての自覚を高めるとともに、地域の環境美化を図る。	ソフト	○	→	→		○	150,000	
	● 青少年健全育成防犯パトロール	自治会活動	夏休み期間中の夜間、本渡市街地をパトロールする(全区長参加)。	青少年の非行防止を図る。	ソフト	○	→	→		○	0	社会教育課予算で対応
	● 地区対抗球技大会	青少年育成	児童を対象とした各区対抗の球技大会を、8月の第1日曜日に実施する(男子・ソフトボール、女子・ビーチバレーボール)。	児童相互の親睦と融和を図るとともに、運動技能の向上や体力づくりに役立てる。	ソフト	○	→	→		○	15,000	
	● 地区対抗駅伝大会	青少年育成	児童を対象に、各区対抗による12区間・約4,800mの駅伝大会を、12月中旬ごろ実施する(1～3年・約800m、4～6年・約1,000m)。	児童相互の親睦と融和を図るとともに、運動技能の向上や体力づくりに役立てる。	ソフト	○	→	→		○	15,000	
	● ふれあいフェスタ	青少年育成	物品や食のバザー、各種ゲームなどを、11月中旬に実施する。	バザーによる収益を、児童たちの教育環境の充実のために充てる。	ソフト	○	→	→		○	50,000	
	● 家庭教育講演会	青少年育成	児童の保護者などを対象に年1回、家庭教育をテーマとした講演会を実施する。	専門家などによる講演を行うことにより、家庭教育の充実を図る。	ソフト	○	→	→		○	30,000	
	● 防犯パトロール「地域見守り隊」	青少年育成	児童の登下校時などに、腕章などを付けて巡回し、子どもたちを見守る。	地域住民の防犯意識の高揚を図るとともに、子どもたちの安全を確保し、犯罪を未然に防止する。	ソフト	○	→	→		○	35,000	
	● 資源物回収活動	青少年育成	生徒・保護者が年1回、各区の家庭などをまわり、資源物を回収する。	資源物の回収活動による収益を、生徒たちの教育環境の充実のために充てる。	ソフト	○	→	→		○	30,000	
	● 子ども育成講演会	青少年育成	生徒の保護者などを対象に年1回、子ども育成をテーマとした講演会を実施する。	専門家などによる講演を行うことにより、青少年の健全育成を図る。	ソフト	○	→	→		○	30,000	
	● こま回し体験教室	青少年育成	子どもたちが自分で色付けをしたこまを使って、こま回しを体験する(約40人参加)。	昔の遊びを楽しみながら、子どもたちに伝承する。	ソフト	○	→	→		○	20,000	
	● 交通安全事業(交通看板設置)	環境防災	北地区を巡回し、交通危険箇所などに注意を促す看板などを設置する。	地域住民の交通事故防止などを図る。	ソフト	○	→	→		○	15,000	
	● 青壮年会・清掃奉仕活動	環境防災	青壮年会会員が、北地区内にある公園などの清掃作業を行う(約100人参加)。	青壮年会会員の親睦と融和、地域の環境美化を図る。	ソフト	○	→	→		○	0	
	● 老人クラブ・各区一斉清掃活動	環境防災	老人クラブ会員が、各区ごとに公園や自治公民館周辺などの清掃作業を行う。	老人クラブ会員の親睦と融和、地域の環境美化を図る。	ソフト	○	→	→		○	35,000	

※必ず、当該様式を利用願います。